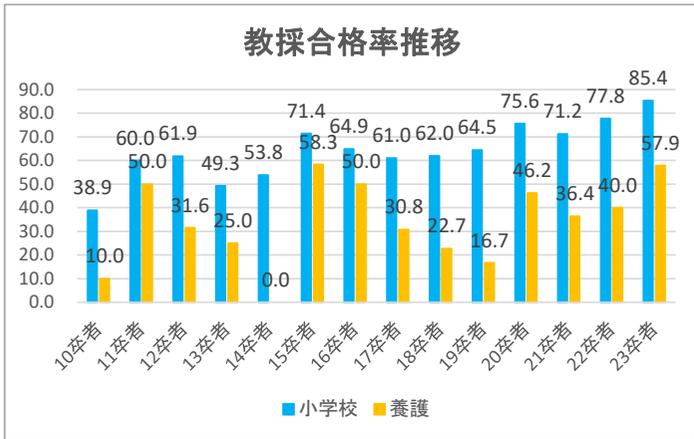


★教員採用試験合格率推移 ※すべて実数

	10卒者				11卒者				12卒者				13卒者				14卒者				15卒者				16卒者				17卒者				18卒者				19卒者				20卒者				21卒者				22卒者				23卒者			
	受験	1次合格	最終合格	合格率																																																				
小学校	95	58	37	38.9	75	55	45	60.0	84	68	52	61.9	75	61	37	49.3	78	65	42	53.8	70	61	50	71.4	57	52	37	64.9	59	46	36	61.0	71	62	44	62.0	76	73	49	64.5	82	76	62	75.6	73	63	52	71.2	90	85	70	77.8	82	81	70	85.4
養護	10	4	1	10.0	10	7	5	50.0	19	8	6	31.6	16	5	4	25.0	7	3	0	0	12	10	7	58.3	8	7	4	50.0	13	9	4	30.8	22	10	5	22.7	18	14	3	16.7	13	9	6	46.2	22	14	8	36.4	15	10	6	40.0	19	16	11	57.9
中学英語																	3	2	1	33.3	2	1	0	0	2	1	1	50.0					1	1	0	0	1	1	0	0					1	0	0	0					1	1	0	0
高校英語																					1	0	0	0													1	1	1	100					2	2	2	100								
特別支援																													2	1	1	50.0	6	6	3	50.0	6	6	5	83.3	4	4	2	50.0	6	5	5	83.3	6	6	6	100	3	3	3	100
高校情報									2	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0																																				
栄養	2	1	1	50.0	2	1	0	0	5	4	3	60.0	6	3	0	0	1	1	1	100	3	3	3	100	3	1	0	0	7	6	2	28.6	4	1	1	25.0	7	5	4	57.1	5	3	0	0	4	3	1	25.0	4	2	2	50.0	7	7	4	57.1
中高家庭科	1	0	0	0	1	1	1	100					1	1	0	0	1	1	0	0	2	2	1	50.0	1	1	0	0	2	1	1	50.0	2	2	1	50.0	1	0	0	0	3	3	2	66.7	1	1	1	100	1	1	1	100				
合計	108	63	39	36.1	88	64	51	58.0	110	81	61	55.5	99	70	41	41.4	91	72	44	48.4	90	77	61	67.8	71	62	42	59.2	83	63	44	53.0	106	82	54	50.9	110	100	62	56.4	107	95	72	67.3	107	86	67	62.6	116	104	85	73.3	114	110	90	78.9



- ※14卒養護の受験者には1名、15卒養護の受験者には2名、看護医療学科の学生を含む。
- ※14卒栄養、14卒中学家庭科は科目等履修生。
- ※15卒栄養には1名科目等履修生を含む。
- ※15卒中学家庭科の受験者には1名科目等履修生を含む。
- ※12卒高校情報には1名科目等履修生含む。
- ※17卒の合計83名には同一学生が小学校と特別支援それぞれ受験した分を重複カウントしている。
- ※18卒養護の受験者には1名、看護医療学科の学生を含む。
- ※19卒養護の受験者には2名、看護医療学科の学生を含む。(うち1名は最終合格)
- ※22卒養護の受験者には1名、看護医療学科の学生を含む。(最終合格にも含む)
- ※23卒養護の受験者には看護医療学科1名、教育学研究科1名を含む。

小学校ははじめて合格率80%を超えて過去最高の合格率となった。鳥取県、愛知県等の併願先で合格した学生もいるが、第一希望自治体の合格率は54/82=65.9%(昨年61.1%)であり、倍率が下がりがつあるとはいえ近畿圏の小学校では倍率3倍は超えている中で、健闘したと言える。養護教諭は過去2番目に高い合格率、特別支援は昨年に続いての全員合格100%、栄養教諭は倍率9.8倍の大阪府で2名合格して昨年を上回る合格率となった。さらに、英語教諭は中高あわせて2名合格となり、はじめて複数名の合格者を出すことができた。学年全体の傾向として4回生前期の面接講座の出席状況が比較的よかったことと、面接・模擬授業・実技対策で学科教員の多大なご協力をいただいたこと(試験直前まで学科教員が個別に指導時間を取ってくださることも多かった)、さらに自治体ごとの面接対策と課題のある学生への個別指導に力を入れたことが結果につながったと考える。